

戸田市 施策評価シート

作成日	令和元年 5月29日	作成者名	梶山 浩	評価者名	松山 由紀
-----	------------	------	------	------	-------

1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	01 子どもの成長と生涯にわたる学びのまち	中心となる課	こども青少年部・保育幼稚園室
分野	01 子育て支援	関係課	こども青少年部・こども家庭課
施策	03 保育環境の充実		こども青少年部・児童青少年課
			こども青少年部・待機児童緊急対策室（廃止）
施策の目的	保育を必要とする児童数の増加に備え、適応できる保育サービスを整備します。また、保護者の就労と子育ての両立のため、多様な子育て支援を充実します。		

2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み①	民間保育所事業
取り組み②	学童保育室事業
取り組み③	病児・病後児保育事業
取り組み④	事業所内保育事業
取り組み⑤	
その他の取り組み	待機児童緊急対策事業
その他の取り組み	ファミリー・サポート・センター事業

3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値					
				H27	H28	H29	H30	R1	R2
待機児童数 (保育園)	各年4月1日現在の認可保育所待機児童数	人	0	34	106	83	49		
待機児童数 (学童保育室)	各年4月1日現在の学童保育室待機児童数	人	0	40	45	44	17		
とだファミリー・サポート・センター協力会員登録数	年間の協力会員登録数	人	148	129	141	144	150		
待機児童数 (認可保育所数)	各年4月1日現在の認可保育所数	園	36	-	-	27	33		
その他施策の取組事項に係る成果									

4. 施策の展開 <ACTION>

課題	<ul style="list-style-type: none"> 待機児童対策による民間保育園等の新設により、入所受入枠が拡大されたが、保育の量だけでなく保育の質の向上も求められている。そのため、保育施設が適切に運営するための指導監督等の強化が求められている。また、保育士不足が深刻化する中、保育人材の確保が急務となっている。 学童保育室は、児童の増加が見込まれる学校周辺に民間学童保育室の誘致を推進する必要がある。 	対応策	<ul style="list-style-type: none"> 保育施設の指導監査を行い、安定した運営を実施できるよう指導していく。また、保育の質向上のための専門研修や巡回支援、保育者相談を充実させていく。保育士の確保については、市全体で戸田の保育の魅力を発信し、協力して保育士の採用と定着化に取り組む。 学童保育室は保育需要の増加や多様なニーズに対応するため、民間学童保育室の誘致を積極的に推進する。また、公立学童の民間への委託も検討していく。
----	--	-----	--

○結果と今後の方向性（シート作成次長記入）

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)	説明 (総評)	民設民営による保育所を新規開設し入所児童の受入枠を拡大することにより、待機児童数の減少を図ることができた。また、学童保育室についても、民間学童保育室を誘致して待機児童数の増加を抑えられた。ファミリーサポートセンターは事業の周知を積極的に行い、協力会員の登録数が増加した。
B		
今後の方向性（人員/予算） (↑増加、→維持、↓削減)	説明 (人員/予算)	認可保育所等の保育施設や学童保育室の増加により、運営費補助が増え、指導監査や事務量が増加している。また、幼児教育・保育無償化に関する事務の負担もあり、今後増加することが見込まれる。
↑		

(評価者コメント)

本市の重点課題である待機児童対策については、様々な取り組みを行った結果、保育園の待機児童数を減少することが出来た。今後は、保育需要の動向を見極めつつ、既存保育園の安定的な運営を支援していかなければならない。無償化による影響も注視する必要がある。また、学童保育室についても、各地区の保育需要の動向とともに、施設設備の充実や支援員の確保、研修などハード・ソフト両面の質の充実に努めていきたい。
--

戸田市 施策評価シート

作成日	令和元年 5月29日	作成者名	梶山 浩	評価者名	松山 由紀
-----	------------	------	------	------	-------

5. 事務事業の検討 【一般会計】

(単位：千円)

大 事 業	中 事 業	事務事業名		事務事業評価の結果								★事務事業の方向性			R 2 予 算 額	事業費 うち 一般財源							
		事業コード		事業区分	H30決算額		評価結果						事業の方向性	実施計画候補			実施内優先度	コメント					
		事業内容			R1予算額		事業の方向性	実施計画候補	施策への貢献度	経費水準	事業手法	受益・負担の公平性											
					事業費	うち一般財源													R2計画額				
	03	市立保育園改修工事業		14,516	437,316	1	A	A	A	B	1	義	喜沢南保育園工事期間は平成30年度～令和2年度へ変更。	0									
	01 03 02 04 01 03	平成29年度～令和2年度：喜沢南保育園建て替え工事（解		137,732	137,732									0									
		業）		1,365																			
01		学童保育室事業（児童青少年課）		447,995	556,734	2	○	A	B	B	A	2	義	増加する保育需要に対応するため、民間学童保育室の誘致を推進していく。	0								
	01 03 02 06 01 01	就労などの事情により昼間保		556,734	268,774										0								
		護者が家庭にいない小学生の		268,774	34,115																		
				34,115																			
計（千円）				事業費	5,543,537	R1予算額	6,666,621	R2計画額	6,310,236	R2予算額	0												
				うち一般財源	4,684,279		2,406,704		2,398,450		0												

事業の方向性： 1 現状で継続 2 拡大して継続 3 縮小して継続 4 他事業と統合 5 休止 6 その他見直し
 7 令和2年度で終了 8 令和元年度で終了 9 平成30年度で終了